



たかく則男 レポート

平成 28 年・春季号 No2

☆認知症 SOS が世田谷区でスタートしました。

社会福祉協議会の事業として「認知症徘徊 SOS ネットワーク」が1月よりスタート。大牟田市モデルとして公明党が提案したもの。地域で安心の見守りでメール機能を活用して認知症徘徊者の早期発見につとめます。

☆がん対策が前進します。

世田谷区では昨年「がん対策推進条例」施行し、現在条例に基づく「がん対策推進計画」を策定。

新年度から、ピロリ菌の抗体検査と萎縮性胃炎の有無を調べるペプシノゲン検査を組み合わせた ABC 検診、いわゆるハイリスク検診を導入します。

第 1 回定例会での一般質問から

【音楽ホールを世田谷に】

Q. 一流の音楽を区民に触れていただく機会の提供、表現できる場の提供のために、本格的な拠点つまり、音楽ホールの整備が必要です。

世田谷区の中核的拠点となる公設民営の音楽ホールの整備を求めます。

A. 用途や財政面も含め様々な課題があるが、区民要望も踏まえ検討する。

【公共施設での木材活用】

Q. 木材利用により、地球温暖化の防止、森林再生、木の価値や健康・癒し等を高め、区民への快適な生活空間の提供が期待される。

公共建築物における木材の利用促進に関する方針を早期に策定すべき。

A. 環境面はもとより、コスト面、自治体間の連携の点や公共施設整備方針との整合も踏まえ、関係所管と連携して検討する。